

## 伊興は歴史の宝庫

### ◆史跡

出土した遺跡が物語るように、伊興の地や人々の歴史は古墳時代まで遡ります。伊興遺跡、白旗塚遺跡などを巡る中で、古代の暮らしに触れることができます。

### ◆寺院、神社

古くに開基された寺院や神社、震災後に浅草から移転してきた寺院などが伊興地区に数多くあります。特に東伊興の一部の密集した地域は、「寺町」と呼ばれています。

## 都立舎人公園

### ◆舎人公園 1-1

敷地面積約 69.5ha (東京ドーム 15 個分) と区内最大の舎人公園は、テニスコートや野球場、ソリゲレンデやバーベキューなどが楽しめるアウトドア施設が充実しています。夏にはじゃぶじゃぶ池も利用できます。また、レーガン元大統領夫人を通じて「里帰り」してきたレーガン桜を始めとした 1,000 本の桜があり、春には「春の花火と千本桜まつり」が開催されています。



舎人公園の桜



春の花火と千本桜まつり



じゃぶじゃぶ池

## 見沼代親水公園

### ◆舎人 4～古千谷本町 4

全長 1.7km である見沼代親水公園。見沼代用水は、江戸時代、享保の改革の一環として井沢弥惣兵衛為永が中心となって行った新田開発で、利根川から取水し、見沼溜井に代わるものでした。



見沼代親水公園

これにより、上流域でも新田の開発が進み、伊興周辺は、農業がさかんに行われたようです。昭和 40 年代に都市化が進み、役割のなくなった用水は現在、親水公園として区民の癒しの場となっています。



# 歩こうあだち

舎人から竹の塚編

見沼代親水公園



寺町ぐるっとコース



伊興七福神



平成 26 年 2 月 第 2 版発行 発行・企画 / 足立区観光交流協会  
製作・デザイン / 上野里美 印刷 / 十一堂印刷株式会社  
※本パンフレットのデータは、平成 24 年 2 月現在のものです。  
※本パンフレット掲載記事・写真・イラスト等の無断複写(コピー)・複製・  
転載を禁じます。



## 善久寺



1927年、築地から移転しました。墓地に、江戸時代の解剖図「解剖存真図」を著した南小柿甫祐(本名：寧一)の墓があります。

**いこうひかわじんじや**  
**伊興氷川神社**

# 歩こうあだち

## 東伊興 - 寺町マップ

●ルールを守り、マナー良く、まち歩きを楽しみましょう!●

- ・細い路地がありますので通行には十分ご注意ください。
- ・歩きタバコや吸い殻、空き缶などのポイ捨てはおやめください。
- ※寺社仏閣では、法事、行事等により参拝できない場合があります。また、御朱印はお断りする事もあります。ご了承ください。

## 易行院



歌舞伎で演じられている花川戸助六の塚があることから、助六寺と呼ばれ、演劇芸道の祈願所となっていたようです。

お参りすると、夫婦円満、縁結びに良いとも言われています。

**いこういせきこうえん**  
**伊興遺跡公園**

**ちょうあんじ**  
**長安寺**  
東伊興 4-10-18

**ぜんきゆうじ**  
**善久寺**  
東伊興 4-11-1

**れんねんじ**  
**蓮念寺**  
東伊興 4-7-21

**いぎやういん**  
**易行院**  
東伊興 4-5-5

**じょうこうじ**  
**浄光寺**  
東伊興 4-12-6

## 本行寺



狭間道にある墓地の入口は、かつての山門です。王子製紙社長、藤原銀次郎宅より譲り受け、移築した門です。



**ほんぎやうじ**  
**本行寺**  
東伊興 4-6-10

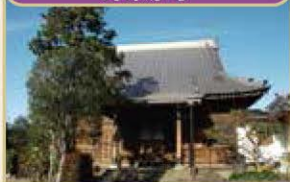
**じょうふくじ**  
**常福寺**  
東伊興 4-6-1

**とうようじ**  
**東陽寺**  
東伊興 4-4-1

**しょうあんじ**  
**正安寺**  
東伊興 4-3-3

**ほうじゆじ**  
**法受寺**  
東伊興 4-14-8

## 東陽寺



歌舞伎や落語で語り継がれる塩原太助。本所相生町に炭屋を営み、刻苦勉強、質素儉約に努め、一代で財を成した彼の墓があります。

また、戸田茂睡が愛息の死を悼んで建立した歌碑や、河村瑞賢の追悼碑などがあります。



## 狭間道プチテラス

歩き疲れたら、ひと休み。まちの人が語った「昔話」が掲げられています。

寺町ならではの  
落ち着いたある通り

尾竹橋通り

## 法受寺



伊興の特徴として、東伊興四丁目周辺に寺院が密集していることがあげられます。この寺院の多くは元来浅草・本所地区にありましたが、関東大震災に罹災の後、移転しました。

おもに浅草から移転してきた寺院なので、由緒をもち、著名人の墓がある寺院もあります。

1929年浅草清島町から移転しました。「ぼっくり寺」として安楽往生を願う庶民に親しまれていた「ねはん様」は、震災で顔面の一部を残し焼けてしまいましたが、平成5年、琵琶を所持した観音様を建立。挫折や病床からの回復を願って「起き上がり観音」と名付けられました。





毛長川沿いの土手が緑道になっていきます。道沿いには約340本もの桜の大本が生い茂り、約1.2km続く桜ロードは区内の名所のひとつです。桜の木を見上げながら、ゆっくり歩いてみませんか。

### 1 舎人緑道公園

◆舎人6~入谷9

### 2 舎人氷川神社

◆舎人5-21-34

### 3 伊興氷川神社

◆東伊興2-12-4



江戸時代末から明治初期に造営されたと伝わる総檜造りの本殿には、昇龍・降龍や唐獅子、牡丹など見事な神話彫刻が施されています。



足立区内最古の氷川神社。伊興遺跡公園と道一つ隔てた場所の樹々の繁る森の中に鎮座しています。

## 舎人から竹の塚

★お立ち寄りポイント  
~23区最北端の地~  
東京都と埼玉県との都県境を流れる三味線堀。この辺りが、23区の最北端になります。

### 見沼代親水公園

四季折々の風情が楽しめる親水公園。4つのゾーンに分かれ、それぞれの特徴が楽しめます。

水生植物園ゾーン...470m

こもれびゾーン...270m

せせらぎゾーン...480m

まどろみゾーン...500m

村があつた場所にあります。屋外には竪穴式住居を再現し、中では等身大のジオラマで古代人の暮らしぶりを紹介しています。展示館には子持勾玉や土器などが展示されています。

### 4 伊興遺跡公園

◆東伊興4-9-1

☎03-3898-9111  
■時間 / 9:30~16:00  
(展示館は10:00~16:00)  
■無料  
古墳時代の遺跡が数多く出土する伊興地域。公園は当時の



### 裏面：寺町ラツプ



全国でも少ない時宗の寺院。切妻造で流破風の椽瓦葺である四脚門の山門は、寛永14年(1637)の建立と伝えられ、区内最古の木造建築です。山門の蛙投などの装飾に江戸初期建築物の特徴が示されています。また、承応3年(1654)7月の紀年銘があり区内最古の遺構である高さ約2m余の美しい六角型の石灯笼があります。

### ~村の内外を結ぶ主要な道路~ 赤山街道

旧日光街道・増田橋から赤山陣屋を結ぶ道。かつては、譜代藩の城下町岩槻へ至る道であつたので「岩槻道」と言われていましたが、関東郡代伊奈氏の陣屋が足立郡赤山村(現在の埼玉県川口市)に造成されたため「赤山道」になりました。戸田川の増水で中山道の戸田の渡しが利用できない場合は、参勤交代を行う諸藩と旅行人馬が通つたといわれています。



### 5 白旗塚史跡公園

◆東伊興3-10-14



5、6世紀頃に築造された直径12m、高さ2.5mの円墳で、堀に囲まれた白旗神社があります。康平5年(1062年)、源頼義、義家が奥州反乱を鎮圧する途上の戦いで、この塚に白旗を立て苦戦の末、勝利を収めたので白旗塚と呼ぶようになりました。

### 6 東岳寺

◆伊興本町1-5-16



「東海道五十三次」などで有名な浮世絵師安藤広重の墓や記念碑があります。広重を海外へ紹介した米国人ハッパパーの墓や「俳風柳多留」を出版した花屋次郎の遺蹟碑なども見ることができます。

### 7 薬師寺

◆伊興5-4-3



秋には山門から本堂にかけて約100種類のモミジなどが鮮やかに境内を染め上げます。



## 宝 伊興七福神

長春や開運を願い、元旦から7日までに巡拝するとご利益があると言われています。  
徒歩で約1時間の行程です。(お参りの時間を除く)

- A 源正寺(恵比寿天)：伊興2-2-35
- B 福寿院(寿老人・福祿寿)：伊興2-18-18
- C 実相院(大黒天・弁財天・毘沙門天)：伊興4-15-11
- D 法受寺(布袋尊)：東伊興4-14-8

